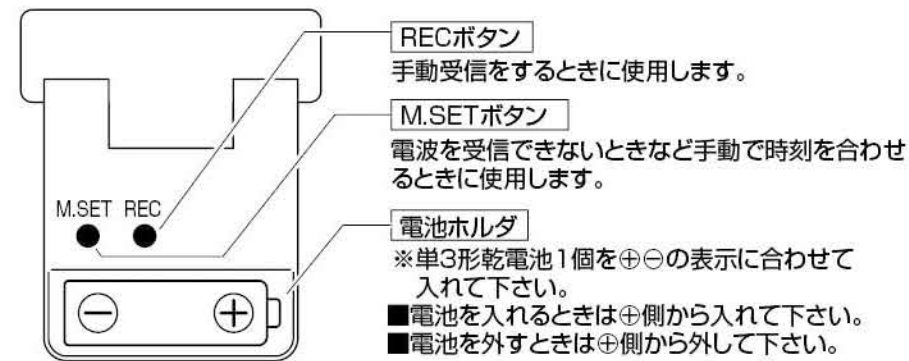


本体裏面拡大図



ご使用方法

- ①電池を入れる
単3形乾電池1個を、時計用電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れる。
- ②初期電波受信を開始
電池を入れると電波受信状態となり、針が早回りをして、正午(12時位置)で一旦停止します。

注意 電波受信(4~17分間)は針が停止したままになりますが、故障ではありません。電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ち下さい。

- 電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。
- 電波受信に失敗した場合、時刻を修正しないで、針は正午(12時位置)より通常の運針を始めます。
→ **電波受信ができなかった場合は…** を参照。
※電波受信に失敗して通常の運針を始めた後、12時16分になると秒針が12時の位置に停止し、再度受信モードに入ります。
- ③時計を掛ける
本書 **時計の掛け方について** と **電波時計について** を参照。

電波受信ができなかった場合は…

- ①朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと、受信できる可能性が高くなります。
- ②設置場所を変える/受信をやり直す
本書 **電波時計について** の **電波を受信しにくい環境** を参考にして設置場所を変え、リセット操作をして再度受信をさせる。
- ③手動で時刻を設定する
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。本書 **手動で時刻を設定する** を参照。

手動で時刻を設定する

注意 電波受信中は、手動による時刻設定はできません。
※電波受信中は、受信のための時分秒針の運針中または停止中のことです。

- ①通常運針時(電波受信中外)に、M.SETボタンを秒針が停止するまで押し続ける。
※手動で時刻が設定できる状態になります。
- ②(秒針が停止中に)M.SETボタンを押す。
※7秒以上何も操作をしないと通常運針を始めます。
※1回押すごとに分針が1分ずつ進みます。ボタンを押し続けると早回りをし、放すと停止します。
※お使い始めの電波受信中の針は、正午(12時位置)で停止します。合わせたい時刻が午前の場合は12時間以上移動させて現在時刻に合わせて下さい。
- ③手動設定が終了したら、M.SETボタン放して7秒以上待つ。
※手動で時刻を設定した場合、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

夜間秒針停止機能について

本製品は内蔵プログラムにより、午前0時2分から午前6時2分までの間は、秒針のみ12時位置で停止します。
※夜間秒針停止中であっても自動受信のときは、秒針が動くことがあります。また時分針も通常運針以外の動きをする場合がありますが故障ではありません。
※夜間秒針停止機能の解除、時刻設定はできません。

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合は、電池を電池ホルダから取り外し、一旦、プラスマイナスを逆に入れて2秒後に取り出してから、指定の向きに電池を再挿入して下さい。
(この作業をする事によって、内部に残った電流を取り除きます。)
設定されている内容が初期の状態に戻ります。(初期電波受信を開始します。)

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このような場合、リセット操作をして下さい。

電池の交換について

- 電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。自動電波受信のときは針がぐるぐる回ります。このような場合は、すみやかに新しい電池に交換して下さい。
※買い置きを電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

電波時計とは

標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは

情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の国内2か所にあります。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信停止について

標準電波は毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波(送信停止)することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外には受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。 情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jij.nict.go.jp>

電波の受信範囲について

送信所からおおむね半径1000kmとされています。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。



電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
 - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
 - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
 - 自動車、電車、飛行機などの中
 - 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
 - スチール机などの金属製家具の上や近く
 - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

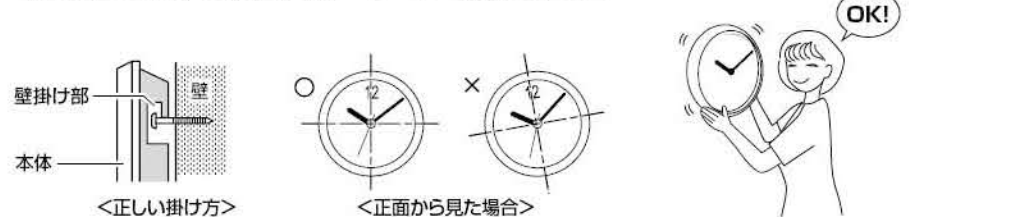
お手入れについて

- プラスチック部品、ガラスをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふいた後に、カラぶきして下さい。木製部品、金属部品は柔らかい布でカラぶきして下さい。
- ベンジン、アルコール、ミガキ粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
- ※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となります。

時計の掛け方について

注意 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
- ※材質構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



故障かな?と思ったときには…

症状	考えられる原因	処置
針がぐるぐる回る	<ul style="list-style-type: none"> ■電池容量が少ない ■電池を入れた直後の電波の受信の準備中 ■時刻修正中 	<ul style="list-style-type: none"> ■新しい電池に交換して下さい。 ■そのままお待ち下さい。早回りしている針は正午(12時位置)で一旦停止します。電波を受信すると、自動的に針を現在時刻に合わせます。※その間ボタン操作はしないで下さい。 ■電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。本書 電波受信ができなかった場合は… を参照して下さい。
秒針が止まって動かない	<ul style="list-style-type: none"> ■夜間秒針停止中 ■午前/午後を間違えて設定している(手動設定時) ■針がぐるぐる回った直後の電波受信 ■秒針位置の自動補正中 	<ul style="list-style-type: none"> ■そのままお待ち下さい。※内蔵プログラムにより、午前0時2分から午前6時2分までの間、秒針が12時位置で停止します。※午前/午後を間違えて設定すると、日中に夜間秒針停止機能が作動してしまいます。※本製品は、秒針位置の誤差を自動で修正します。
時計が動かない	<ul style="list-style-type: none"> ■電池が入っていない ■電池が正しい向きで入っていない ■電池端子の接触不良 ■電池容量が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ■電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。 ■端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。
時計が止まるまたは遅れる	<ul style="list-style-type: none"> ■電池容量が少ない ■電波障害 	<ul style="list-style-type: none"> ■新しい電池に交換して下さい。 ■リセット操作をして下さい。(本書 リセット操作について 参照)
時分針が早回りした後、動かない	<ul style="list-style-type: none"> ■電波の受信 ■電池容量が無いまたは容量が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■そのまま17分程お待ち下さい。その間ボタン操作はしないで下さい。 ■新しい電池に交換して下さい。